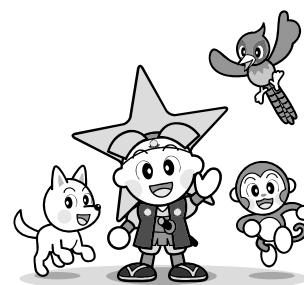


林 声



岡山県マスコットももっち

No. 411. 2010. 5. 1

企業との協働の森づくり事業の紹介 1

(株)クラレ岡山事業所では、環境保全を通じた地域社会への貢献、社員等の環境保護意識の啓発を進めるため、県下初の企業として「企業との協働の森づくり」に参画しました。

これまでにコナラ、クヌギなどの植樹、下刈など保育活動、シイタケの植菌体験や木工クラフトづくりなどを行っています。



植樹活動



シイタケ植菌体験

これからも地域の人との交流を深めるとともに、社員と家族とが継続的に参加してもらえるような楽しい企画づくりを行い、この取組を着実に実施していく予定です。



(株)クラレ岡山事業所
総務部 主管 早川浩司さん

森林の名称	クラレの森
森林の所在	加賀郡吉備中央町岨谷
森林所有者	吉備中央町
協定面積	1 ha
協定期間	平成20年5月8日から平成25年3月31日まで
活動区分	実践型(社員、家族による植樹、下刈りなど)
活動成果	平成21年1月、整備した森林(広葉樹の下刈)の二酸化炭素吸収量が岡山県二酸化炭素吸収委員会の承認を受け、認証書が交付された

目 次

就任ごあいさつ	2
21おかやま森林・林業ビジョン	2
平成22年度森林・林業主要事業	4
農林水産総合センターについて	6
お知らせ	8
林産物市況	10

就任のごあいさつ

治山課長
吉岡 哲哉

新緑の候を迎え、会員の皆様方には御健勝のこととお喜び申し上げます。

私、この度の人事異動により治山課長を拝命いたしました。誌上をお借りし一言御挨拶を申し上げます。

森林整備や治山施設の設置などを通じて、県民の皆様の安全、安心を確保しつつ、大切な財産である森林を守り育て、本県林業の発展に力を尽くす所存でございますのでよろしくお願いいたします。

さて、政権交代に伴い、国の各種施策が大きく変容し、昨年度は、三年間の基金事業である森林整備加速化・林業再生事業がスタートするとともに、森林・林業再生プランが公表されるなど「コネクティート社会から木の社会へ」のキャッチフレーズのもと、森

林・林業は新政権の施策の中でさらに重みを増しております。

本県でも基金事業や国庫補助事業に加え、「おかやま森づくり県民税」を有効活用するなどして「岡山県地球温暖化防止等間伐推進五カ年計画」に基づく三万本の間伐を加速化し着実に実施することとしております。

そして、森林整備に不可欠な林道や作業道等の路網整備を推進するとともに、森林の多面的な機能を十分発揮できるよう適正な保安林の管理や、秩序ある林地の開発指導に努めてまいります。

また、昨年八月の美作市の豪雨災害のように、最近では地球温暖化の影響とみられる局地的な豪雨による災害が懸念されるところですが、治山事業等により山地災害の復旧・防止に努めてまいります。

これらの施策は、森林所有者の皆様をはじめ関係機関との緊密な連携が不可欠であり、今後とも御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。

「21おかやま森林・林業ビジョン」について

岡山県では、県土の約七割を占める豊かな岡山の森林を次世代に引き継ぐために、平成十二年（二〇〇〇年）、五十年先（二〇五〇年）を展望し、森林・林業のあるべき姿や施策の基本方針、森林・林業関係者や県民の果たすべき役割等を明らかにした「岡山21世紀森林・林業ビジョン」を策定しましたが、計画期間が平成二十二年（二〇一〇年）をもって終了することから、時代の要請や情勢の変化を的確に反映した新たなビジョンを策定しました。



緑豊かな岡山の森林

一、名称

「21おかやま森林・林業ビジョン」に改称しました。

二、計画期間

平成二十二年度（二〇一〇年）から平成三十一年度（二〇二〇年）までの概ね十年間です。（なお、今後の経済・社会情勢の変化に対応し、五年後に見直すこととしています。）

三、策定のポイント

ア 森林・林業のあるべき姿等

二〇五〇年を展望した森林・林業のあるべき姿、長期の目標数値（人工林、天然林等の森林面積）は踏襲しています。

イ 施策の基本方針と施策体系

森林・林業を取り巻く主な課題として、①路網の整備、高性能林業機械の導入や森林施業の団地化等による生産コストの低減、②CO₂吸収など公益的機能を発揮させるための間伐等森林整備の加速化、③県産木製品の利用拡大や木

○ 2050年を展望した森林の姿（長期目標）

区分		策定時（1998年）	現況（2008年）	将来（2050年）
民有林 森林面積	総面積	446 千ha	446 千ha	440 千ha
	人工林面積	172 千ha	173 千ha	140 千ha
	天然林等面積	274 千ha	273 千ha	300 千ha
人工林の 伐採方法		最長伐期 80年 50%伐採 60年	→	最長伐期 150年 50%伐採 80年
県産材の供給量		380 千ha	365 千ha	710 千ha（可能量）

質バイオマス燃料の利用促進のため、未利用間伐材等の安定的な供給体制づくり、④企業等に森づくりに関する情報の提供とCO₂吸収量の評価・認証による森林保全活動への参画を促進等が挙げられ、これらの課題に対応するため、細分化していた施策体系と推進方向を整理し、新たに数値目標を設定しました。

今後、新ビジョンに基づいて、低炭素社会の実現に寄与すること

を念頭に置きながら、健全で緑豊かな岡山の森林を守り育てていくこととしています。

（林政課 森林企画班）

○ 新規に設定した数値目標

林業生産活動を通じた木材資源の確保

生産性の高い林業による山村の振興

・「持続可能な林業経営の展開」

目 標 項 目	現況(2008年)		目標(2020年)	
・林業就業者数	946 人※	→	1,000 人	(※印 2005年)
（49歳以下の割合）	30.4 %	→	40.5 %	
・認定事業者数	27 事業者	→	37 事業者	
・中核森林組合認定率	57 %	→	70 %	
・しいたけ生産量(生)	759 t	→	775 t	
・ (乾)	72 t	→	74 t	

・「生産性の向上による林業生産活動の活性化」

目 標 項 目	現況(2008年)		目標(2020年)	
・林業密度	4.4 m/ha	→	5.2 m/ha	
・林業作業士認定者数	234 人	→	350 人	
・低コスト施業団地数	8 箇所	→	50 箇所	
・木材(丸太)生産量	365 千m3	→	500 千m3	

・「CO₂吸収に寄与する健全な人工林の育成」

目 標 項 目	現況(2008年)		目標(2020年)	
・間伐面積	6.0 千ha/年	→	4.6 千ha/年	
※間伐対象は、16年生～45年生のスギ、ヒノキ人工林で、次第に減少していくことが予想される。(2008年) 98.4 千ha → (2020年) 46.4 千ha				

循環資源である木材・木質バイオマスの利用推進

・「人と環境に優しい木材利用の推進」

目 標 項 目	現況(2008年)		目標(2020年)	
・公共施設等の木材使用量	5,289 m3	→	10,500 m3	

・「木材製品の品質向上と新たな木材利用」

目 標 項 目	現況(2008年)		目標(2020年)	
・乾燥材出荷比率	35.8 %※	→	57.0 %	(※印 2007年)
・木質バイオマス利用施設数	130 箇所	→	320 箇所	

森林とのふれあいを通じた心の豊かさとゆとりの確保

県民参加による森づくりの推進

目 標 項 目	現況(2008年)		目標(2020年)	
・森づくり活動への参加企業数	9 社	→	30 社	

自然環境の保全を通じた公益的機能の確保

自然力を活用した森林の保全

・「松林の健全化施業の推進」

目 標 項 目	現況(2008年)		目標(2020年)	
・育成天然林施業面積 （樹種転換を含む）	60 ha	→	90 ha	

・「森林機能の維持増進と防災対策の強化」

目 標 項 目	現況(2008年)		目標(2020年)	
・民有林の保安林面積	146 千ha	→	152 千ha	

平成22年度森林・林業主要事業について

森林は、水資源のかん養や県土の保全、地球温暖化の防止などの公益的機能を有しており、森林に対する県民の期待はますます高まっています。

一方、世界的な景気後退による住宅着工戸数の大幅な減少や、木材価格の低迷、手入れの行き届かない森林の増加など、森林・林業を取り巻く情勢は厳しい状況が続いています。

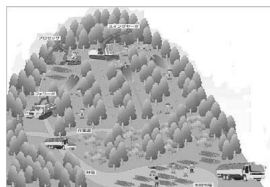
このため岡山県では、「21おかやま森林・林業ビジョン」のもと、循環資源である木材や木質バイオマス利用促進、二酸化炭素の吸収源となる森林を確保するための間伐の推進など、森林・林業を取り巻く諸課題に的確に対処することとしています。

平成22年度の森林・林業の主要事業をご紹介します。

1 主要事業の概要

●森林整備加速化・林業再生事業

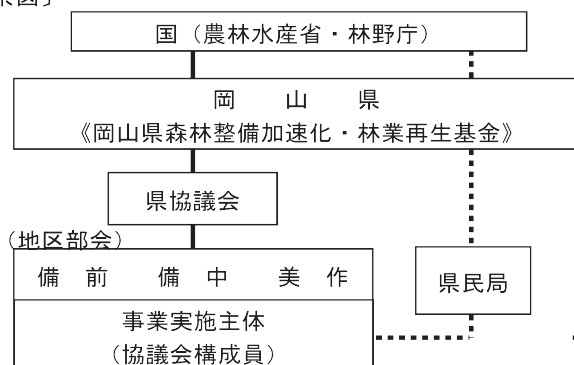
【担当課：林政課林業木材班】



平成21年度に設置した「森林整備加速化・林業再生基金」を活用し、CO₂森林吸収目標達成のための間伐と間伐材など県産材の活用に向けた路網整備、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設整備などの一体的な取組を支援し、林業・木材産業の振興を図ります。

事業は、県、市町村、関係団体で構成する協議会を設置して事業内容の調整を図り、県が作成した事業計画を、協議会構成員である各事業体 implements。

〔実施体系図〕



- ・事業実施期間：平成21～23年度
- ・基金造成額：27億円
- ・事業実施主体：
市町村、森林組合、木材事業者等
- ・補助率：定額、1／2以内
- ・22年度予算額：12億円

—— 計画の流れ
- - - 補助金の流れ

●林業担い手対策事業

【担当課：林政課林業木材班】



林業労働力の育成・確保を図るため、安全装備などの導入支援や、安全衛生の確保、林業就業者の福祉向上対策を進めます。

また、林業事業体が行う職場内研修への助成や、県・市町村の森林利用施設を活用した技術習得の機会を提供して新規就業者を育てます。

〔ニューフォレスター育成支援事業〕

- ・事業主体：（財）岡山県林業振興基金（林業労働力確保支援センター）
- ・事業内容：林業事業体の行う職場内研修への支援

〔林業労働・安全安心推進事業〕

- ・事業主体：森林組合等の認定事業体
- ・事業内容：安全作業を確保するための装備等の導入支援（補助率 1／2以内）

〔ふるさと森林整備事業（ふるさと雇用再生特別交付金）〕

- ・事業主体：岡山県
- ・事業内容：手入が遅れている森林等の整備を通じた雇用機会の創出
- ・委託先：森林組合等

●おかやまの木で家づくり推進事業

【担当課：林政課林業木材班】



木材需要の大半を占める住宅建築において、木造住宅の普及を促進し、品質の安定した県産乾燥材の積極的な利用を推進するため、柱や土台など主要構造部材に、県産乾燥材を一定量以上使用して木造住宅を新築する方への助成を行います。

- (1) 助成戸数 200戸
 (2) 助 成 額 1戸当たり20万円の定額
 (3) 主な採択条件
 ア 県内に自ら居住するための新築一戸建て木造の個人住宅（建売住宅も含む）
 イ 主要構造材に8㎡以上の県産乾燥材を使用
 ウ 住宅の規模は、延床面積80㎡以上のもの
 エ 建築基準法に基づく建築確認済証の交付日または建築工事届の受理日が4月1日以降の住宅
 オ 主要構造部材の施工が完了し、平成23年3月31日までに現地確認が可能なもの

●木質バイオマス利用促進事業

【担当課：林政課林業木材班】



二酸化炭素の吸収源となる森林に由来する木質バイオマスの利用を促進するため、木質ペレットストーブの普及展示や、一般消費者へのPRを行うとともに、木質ペレットボイラーの農業用ハウス等への導入支援と利用効果の実証調査を行います。

《県民への利用PR》

- (1) 木質ペレットストーブの県施設への設置
 ・ 設置台数 3台
 ・ 事業主体 県施設管理者
 (2) 木質燃料を含めた木材利用の県民へのPR
 ・ PR内容
 ペレットストーブ、木質材料・木質バイオマス燃料等の木材に関する普及展示

《農林業分野での実証利用》

木質ペレットボイラーを農業用ハウス等へ導入する経費の一部を補助するとともに、利用効果等を実証する。

- ・ 事業主体 農林業団体、営農集団等
 ・ 補助台数 1台
 ・ 補 助 率 1/3以内（上限1,000千円）
 ・ 実証経費 110千円

●造林事業

【担当課：治山課造林班】

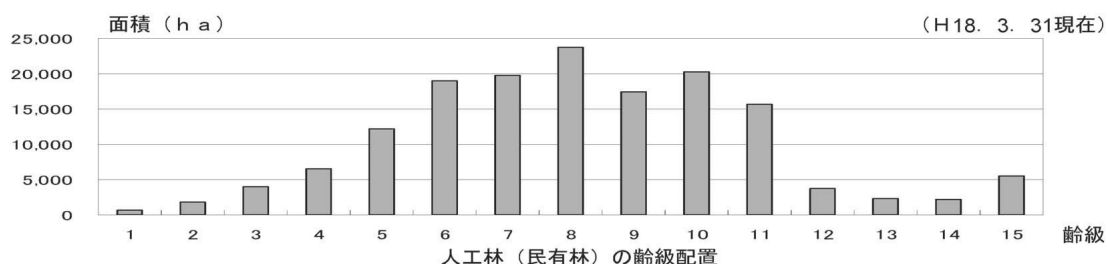


森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、間伐や伐期の長期化、針広混交林への誘導等の多様な森林整備を推進します。

「地球温暖化防止等間伐推進5カ年計画」により、平成20年度から5年間で3万㍏の間伐を計画的に実施し、京都議定書の第1約束期間におけるCO₂の吸収源となる森林を積極的に確保します。

《間伐対象森林の現状》

民有林の人工林面積は173千haで、このうち4～9齢級（16～45年生）の間伐対象森林（スギ・ヒノキ人工林）は98千ha（57%）となっています。



● 治山事業

【担当課：治山課治山班】



山地災害から県土を保全し、森林の公益的機能の維持・向上や、良好な生活環境の保全・形成を図るため、治山施設の設置による防災対策や荒廃森林の整備を計画的に実施します。

事業名	平成22年度計画
治山事業	79箇所
森林維持管理事業	9箇所

● 林道事業

【担当課：治山課林道班】



林業経営の合理化や、間伐など森林整備の促進、山村地域の振興を図るうえで基幹的な施設となる林道の開設・改良・舗装を計画的に推進します。

・ 林道の現況（平成21年度末見込み）

路線数	総延長	林道密度
1,435路線	1,979km	4.4m/ha

2 平成22年度予算額

平成22年度の当初予算額は一般会計7,638百万円（対前年比89.9%）を計上しているほか、本年度から新たに農山漁村地域整備交付金予算を確保しています。

緑豊かで健全な森づくりの推進に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。
（林政課 森林企画班）

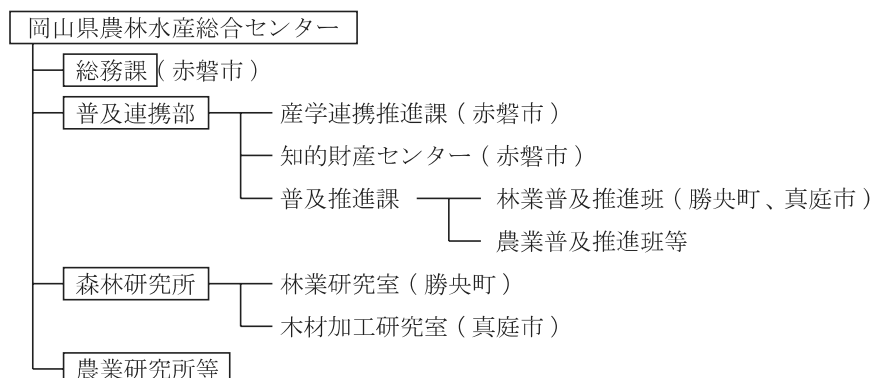
農林水産総合センターについて （林業試験場、木材加工技術センターの再編）

平成22年4月、農林水産部関係試験研究機関が再編統合され、「農林水産総合センター」が設置されました。

これに伴い、林業試験場と木材加工技術センターの所在地はそれぞれ現状のとおりですが、組織的には「農林水産総合センター森林研究所」として統合され、「林業研究室」と「木材加工研究室」に再編されました。

なお、林業試験場と木材加工技術センターに配置されていた林業普及指導員は、「農林水産総合センター 普及連携部 普及推進課 林業普及推進班」の所属となりましたが、配置先は森林研究室（勝央町、3名）及び木材加工研究室（真庭市、1名）で昨年度と変わりありません。

【組織図】



森林研究所

森林研究所は、岡山の豊かな森を守り育て、林業、県産材及び木材産業の振興を図るため、健全な森林の整備、低コスト林業の推進、特用林産物の生産等に関する研究、また、県産材の特性を踏まえた建築用材の利用等、県産材を有効に活用するための加工・利用技術の開発などを行っています。

林業研究室

- 広葉樹施業や列状間伐技術など森林整備技術の研究
- 高性能林業機械による低コスト作業システムの研究
- 少花粉スギ・ヒノキ、松くい虫抵抗性マツなどの開発・供給
- マツタケ、クリ、木炭など特用林産物生産技術の研究
- 地球温暖化防止など森林の持つ公益的機能の調査研究

広葉樹造林地



高性能林業機械



マツタケの発生



木材加工研究室

- 木材の材質特性に関する研究
- 木材の加工技術(乾燥・接着・化学処理等)に関する研究
- 木質系新材料の開発に関する研究
- 木材・木製品の性能評価に関する依頼試験

人工乾燥装置による木材乾燥



強度試験機による木材性能試験



平成22年度森林・林業関係の試験・研究課題について

区 分	課 題 名	実施年度
森林整備技術	風倒木跡地等に植栽された広葉樹施業技術の確立	H20→H22
	強度間伐実施後の林木の成長	H21→H23
	松くい虫の複合的防除技術の開発	H20→H22
	ナラ類集団枯損初期被害防止のための調査研究	H22→H23
林業生産技術・ 林木育種	岡山県における低コスト林業の推進に向けた高性能林業機械作業システムの調査研究	H22
	少花粉スギ・ヒノキ実用化に向けての研究	H20→H22
	抵抗性クロマツの作出	H20→H24
特用林産物生産 技術	マツタケ菌の定着促進技術の開発	H22→H24
	ギンナン生産拡大及びイチョウの樹勢回復方法	H22→H23
	移動式バイオマス暖房機の開発	H22
森林の公益的機 能調査等	貴重樹木のクローン増殖方法の研究	H20→H22
	森林吸収源インベントリ情報整備事業	H18→H22
木材加工技術	岡山県産ヒノキ材の接合性能評価による適用部材選別基準の検討	H20→H22
	ヒノキラミナの強度性能評価	H20→H22
	既存土木用木製構造物の耐用限界評価技術の開発	H20→H22
	地域産材を活用した規格木材を生産するための乾燥技術の開発・改良	H19→H23

(林政課 普及指導班)

お知らせ

岡山県立森林公園開園

昨年一二月から冬期（積雪のため）閉園していた県立森林公園が、昨年度より一日早い四月十六日に開園しました。

同公園（三三四）は、鏡野町羽出及び上齋原地域の鳥取県境に位置し、ブナ林や湿原など豊かな自然が残されています。

開園からしばらくは、中央園路沿いの湿地にはザゼンソウやミズバショウが顔を出し、山はブナやカラマツの芽吹きで、パステル調に淡く色づいて、一年の中でも大変美しい時期です。林床にもキクザキイチゲやイワウチワなど、次々可愛らしい花が咲き出します。野鳥たちが盛んにさえずり、森の生き物も活発に動き出します。



◇現地の最新状況等問い合わせ
（森林公園管理事務所）
〇八六八（五二）〇九二八

林業作業士育成研修 受講者募集

岡山県林業労働力確保支援センターでは、林業労働に必要な専門知識や技能を習得し、地域林業の基幹となる優秀な担い手を養成するため、林業労働者を対象とした「林業作業士育成研修」を毎年実施しています。

今年度も六月二十一日から予定しております。

詳細につきましては、各森林組合、木材組合へ支援センターから五月上旬に募集案内を送付します。



「研修の概要」

研修場所

- ①内部研修
岡山県農林水産総合センター森林研究所（勝央町）
- ②外部研修
指定研修機関（津山市、新見市他）

研修日程

- 平成二十二年六月二十一日～平成二十三年一月の間
- ①内部研修 第一期～第六期（一期・三日～五日間）
- ②外部研修 十日間程度

募集人員

七名程度

受講資格

原則として、認定事業体に雇用されている者で、且つ、三年以上林業経験のある五十五歳未満の者とする。

受講申請

平成二十二年五月下旬

その他

研修費用は原則無料（宿泊費、食費等は受講者負担）
◇問い合わせ先
（財）岡山県林業振興基金
岡山県林業労働力確保支援センター（〇八六）二二五―九三八二
担当 森定・大山



講習会等の開催

（五～七月）

●小型移動式クレーン運転講習

- 岡山 五月十七・十八日
- 七月十二・十三日
- 津山 七月二十二・二十三日

●玉掛け講習（未経験者）

- 岡山 五月十一・十一日
- 六月十・十一日
- 七月五・六日
- 玉野 六月十六・十七日

和気 五月十七・十八日

笠岡 六月二十二・二十三日

新見 五月二十六・二十七日

津山 六月七・八日

●玉掛け講習（補助業務経験者）

岡山 五月三十一・六月一日

◇問い合わせ先

（社）岡山県労働基準協会（〇八六）二二五―三五七一

●伐木（特別教育）

津山 六月二十一・二十二日

●刈払機取扱作業（通達講習）

- 岡山 七月一日
- 津山 六月三日
- 新見 六月八日

◇問い合わせ先

林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山支部

（〇八六）二二一―二一六〇

●移動式クレーン運転士試験

五月十二日・七月十三日

●林業架線作業主任者試験

六月九日

◇問い合わせ先

中国四国安全衛生技術センター（〇八四）九五四―四六六一

●はい作業主任者講習

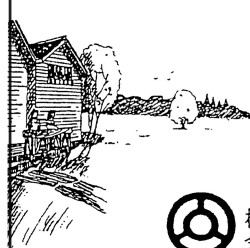
津山 五月二十日・二十一日

◇問い合わせ先

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部（〇八六）二三四―一三三二

森林・林業関係イベント参加者募集中

実施年月日	開催場所	イベントの名称	問い合わせ・申し込み先
H22.5.3(日) 10:00~12:00	道の駅「鯉ヶ窪」 (新見市哲西町矢田地内)	野馳っ子緑の少年隊 春の街頭募金	岡山県備中県民局新見地域森林課 TEL 0867-72-9169
H22.5.16(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町地内)	櫛の杜塾・第121回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
H22.6.1(火) ~6.18(金) 8:30~17:00	県庁1階県民室 (岡山市北区内山下地内)	おかやま森づくり県民税 事業及び県産材需用拡大 のPR (写真・パネル等展示)	岡山県 林政課普及指導班 TEL 086-226-7451
H22.6.20(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町地内)	櫛の杜塾・第122回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614



緑あふれる環境づくり

 **株式会社 山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

 **さんもく工業株式会社**

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

緑化用種苗器材
庭公園樹各種芝
造園設計・施工

 **株式会社 菁 芳 園**

岡山市北区東古松2丁目10-28
電 話 2 2 2 - 4 0 3 8

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び
栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 総発売元 **森産業株式会社**

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)ができる **スミパイン[®]乳剤**

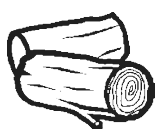
伐倒木用くん蒸処理剤 **キルパー[®]40**

樹幹注入剤 **グリーンガード[®] エイト**

伐倒駆除剤 **パインサイド[®]S油剤C, D**

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

 **サンケイ化学株式会社**
大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 TEL(06)6305-5871



林産物市況



木 材（4月19日）

単位：千円／m³

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	概 況
杉	3 m	8～13	本280	—	出荷材積 約1,350m ³
		14～16	14	—	
		18～20	13	—	
		22～24	12	—	
	4 m	8～13	本330	—	杉 中目材 横ばい 柱 材 強気配 小径木 横ばい
		18～22	10	—	
		24～28	10	—	
		28～30	10	—	
桧	3 m	8～13	本320	—	桧 中目材 横ばい 柱 材 横ばい 小径木 横ばい
		14細	17	△	
		14～16	23	△	
		18～20	22.5	—	
		22～24	20	—	
		26cm上	20	—	
	4 m	8～11	本350	—	記号 △ 強気配 — 横ばい ▼ 弱気配
		12～13	本730	—	
		14cm	21	△	
		16～18	25	—	
		20～22	19	—	
		24～28	18	—	
	6 m	30cm上	18	—	
		14cm	15	—	
		16cm	34	—	
		18～20	34	—	
松	3 m	18～24	8	—	記号 △ 強気配 — 横ばい ▼ 弱気配
	4 m	24～30	10	—	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

乾しいたけ（10月22日）

・出品数量 5.8 t
 ・価格高値 6,000円
 ・総平均 4,050円

品 柄	価 格		相場
	平 均	高 値	
香 信 大	4,590	4,870	○
香 信 中	4,350	5,510	○
香 信 小	4,060	5,530	○
小 間	—	—	—
香 信 山 成	4,210	4,400	○
バ レ 大	3,540	4,670	○
バ レ 中	3,210	4,590	○
ス ラ イ ス	3,400	4,520	□
花 どん こ	5,350	5,350	—
上 どん こ	5,050	5,690	○
並 どん こ	4,260	5,770	○
並並どんこ	3,150	5,130	○
小玉どんこ	1,980	2,330	○
山成どんこ	2,540	4,090	○
こ う こ	4,940	6,000	○

価格：円/kg

（相場）

強：◎ 保合：○ 弱保合：□ 弱：△

資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

製 材（4月中旬）

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	G	28,000～35,000
		特等	K	45,000～55,000
	正角 3 m 12cm角	特等	G	28,000～35,000
		特等	K	45,000～55,000
ヒ ノ キ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	55,000～70,000
	正角 3 m 12cm角	特等	K	55,000～70,000
マ ツ	平角 4 m 10.5～12cm×15～18cm	一等	G	35,000～40,000
			K	60,000～65,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	45,000～49,000
	平角 3 m、4 m 10.5×15～21cm	特等	G	45,000～49,000
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	64,000～69,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	45,000～52,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

【編集後記】

●平成二十二年度の第一号をお届けします。本年度も『林声』のご愛読のほどをよろしくお願いいたします。

●今年度から新しく編集に携わることになりました。読みやすい紙面を目指して構成等試行中です。ご意見ご提案がありましたらよろしくお願いたします。（K）

送付先（住所は不要です）

事務局 700-8570 林政課内
 岡山支部 700-8604 備前県民局森林企画課内
 東備支部 709-0492 東備地域森林課内
 倉敷支部 710-8530 備中県民局森林企画課内
 井笠支部 714-8502 井笠地域森林課内
 高梁支部 716-8585 高梁地域森林課内
 新見支部 718-8550 新見地域森林課内
 真庭支部 717-8501 真庭地域森林課内
 津山支部 708-8506 美作県民局森林企画課内
 勝英支部 707-8585 勝英地域森林課内

イベント・参加募集については、発行月の2ヶ月前（3、5、7、9、11、1月末）までにお願いたします。
 感想・ご意見は随時お寄せ下さい。

○投稿募集

『林声』は奇数月の発行です。次回は七月の発行予定です。イベントの開催、参加者募集などのお知らせのほか、各地の現状などもお気軽にお寄せ下さい。原稿の様式はページ四段組、一段は縦十五字・横三十行となりますので目安にしてください。

事務局からのお知らせ



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備の総合計画

(社)岡山県治山林道協会

岡山市中区高屋225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮1849-2 TEL 0868-28-9360

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	張りウッド 〔盛土用〕 	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」



太陽と緑の国づくり

Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

岡山営業所/岡山市北区横井上1328-2 TEL (086) 294-1000
津山営業所/津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕**コニファー水和剤** 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
〔樹皮食い防止に〕**バークガード** 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
〔樹幹注入剤〕センチュリーエース
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819

緑豊かな未来のために

水源林造成

独立行政法人 森林総合研究所
森林農地整備センター中国四国整備局

〒700-0826 岡山市北区磨屋町2番5号
TEL(086)226-3295 FAX(086)231-6344

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
その他木製品の注文承ります



株式会社 フォレスト

〒702-8058 岡山市南区並木町二丁目16番22号
TEL086-265-7350 FAX086-265-1841

『安心・安全な岡山県産原木乾しいたけ』岡山県森林組合連合会 **JForest**

岡山県乾しいたけ品評会、箱物コンクールを開催します

出品の〆切は5月15日(土)



5/24(月) 乾しいたけ入札会

6/5(土) 褒賞授与式

(真庭市勝山文化センター)



◆ 多くの出品をお待ちしております ◆

FOREST
INSURANCE森林
国営保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林

加入期間は？ 1年単位で何年でも！

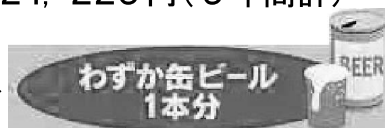
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で27億円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと21,225円(5年間計)

1ヶ月あたり
約350円わずかにビール
1本分

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと37,375円(5年間計)

1ヶ月あたり
約620円わずかにラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林整備課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課

電話番号 086(226)7455(直通)



「緑の募金」 ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
 こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

(社)岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511